

浮世絵は楽し



雑誌『浮世絵』の特別号に、所蔵のものが解説紹介されるときいて、嬉しいような恥ずかしい気持ちです。それに私のばあい浮世絵を愛好するようになった動機が少しいにく付きで、面白いのです。今からもう三十五年も前の話です。

まだ学生であった頃の或る日「日本人の長距離・短距離の研究」で、当時有名な某博士から、浮世絵のいわゆる秘画について長い講義をきかされたのですが、それは吉田暎二先生のように鑑賞のうえからの解説とは違って終始一貫、解剖学者としての立場から説明されたものでした。大家の作品と、そうでないものとは一見して区別ができるということです。春信にせよ清長や歌麿にせよ、およそ名匠の描いているものは、それぞれの瞬間における姿態と微妙な手、足の指の動きなどが、解剖学の上からみても、描く法則にかなって誤りがないというのです。そして最後に、「解剖学に従事すること四十年、お陰をもって習得したものは、秘画を通して浮世絵の鑑定という余技でした。」と言って笑っておられたのです。

その席上、博士の説明にいちばん感嘆されたのが、謹厳そのものの河上肇先生でした。やはり一芸に通ずることは尊いことだと何度も独り言をいわれたあの瘦軀、鶴のような先生の姿がまだありありと目に浮かびます。若い学生たちであっただけに私も新鮮な興味をもたせられ、それからつぎつぎに浮世絵師の名前などを覚えていくようになりました。

また吉井勇氏の短歌によって、写楽に関心をもつようになりましたが、そのころはむろん作品を手に入れる余裕はありませんでした。

(中略)

いずれにせよ、浮世絵は美しいものです。そこには何ともいえない歴史の懐かしさにじみ出ています。浮世絵の美人画、風俗画をじっと見つめていると、この国の民族をいとおしみ、民族を愛する気持ちが自然に湧きおこってきます。池田総理は「石を愛する心持ちはそのまま国土愛につながって行くものである」といわれていますが、宰相の心構えとしては敬意を表します。しかしながら、石よりは、やはり美人画のほうがよいようです。ですから、日本の政治家が、与党も、野党もみんな揃って、「暁の牛歩」などをやらないで、浮世絵の愛好者に転向するならば、民族への愛情、国土への愛情に根ざした、いい政治が生まれて来はしまいかと夢想しています。 (『季刊浮世絵』第六冊 特別号 緑園書房、一九六三年九月)

【利用案内】

開館時間：10：00～16：00

入館料：展覧会により異なります

休館日：日・月・祝日・創立記念日(4月20日)

大学夏期・冬期休業・展示替期間

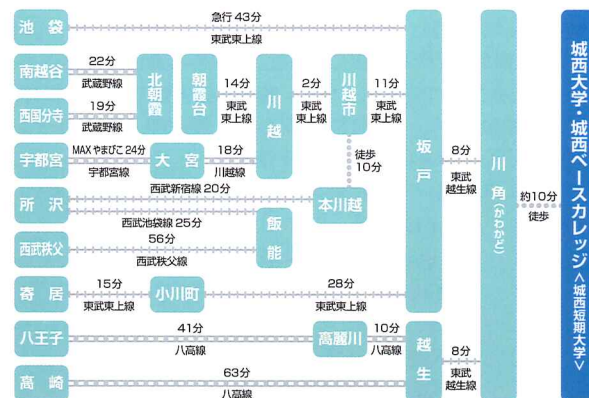
【交通案内】

●電車の場合

東武東上線坂戸駅乗り換えで東武越生線川角駅下車、踏切を渡り徒歩10分

●お車の場合

1. 関越自動車道鶴ヶ島インター下車、鶴ヶ島方向に進み国道407号線を直進。
2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、左にローソン、右に狩野動物病院の看板がある交差点で右折。
3. 一本松交差点を毛呂山方面に直進。
4. 橋(万年橋)を渡り、「明海大学病院」の看板のある交差点を左折し直進、踏切を渡り坂道を上がる。(約20分)



城西大学水田美術館

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

Phone：049-271-7327 / Fax：049-271-7342

<http://www.josai.ac.jp/~museum/>

城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART



館長ごあいさつ

学校法人城西大学理事長
水田美術館館長
水田 宗子

城西大学水田美術館は、本学の創始者である水田三喜男が生前に蒐集した浮世絵コレクションを母体として、1979年3月に水田記念図書館棟 8 階に創設されました。浮世絵をご鑑賞いただくとともに、日本の文化の発展に寄与することを目的として、コレクションの公開を行い、学生、教職員、近隣の皆様方はもとより、国内外の研究者を含む多くの方に大変喜ばれてきました。その流れを引き継ぎ、学校法人城西大学創立 45 周年記念事業の一環として新たに 2011 年 12 月に現在の美術館が開館いたしました。

水田コレクションの公開とともに、大学があります坂戸市や埼玉県など地域ゆかりの文化の紹介、また、大学の紹介、企画展などを予定しております。水田美術館が、皆様に愛され、親しんでいたけますよう力を尽くしてまいりたいと思います。

水田コレクション



東洲斎写楽
「松本米三郎のけいは坂の少将美はしのぶ」大判錦絵



宮川長春
「見立業平東下り」絹本着色

役者絵と美人画を中心に、菱川師宣から、鳥居派、鈴木春信、勝川派、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎など、初期浮世絵から幕末・明治期に至るまでの肉筆・版画で構成されたコレクションは、浮世絵の流れを体系的に通観できる内容となっています。なかでも、国際的な評価も高く、コレクションの価値を高める東洲斎写楽の版画が 9 点含まれることも大きな特色です。



喜多川歌麿
「橋下の釣」長判錦絵



AIA (The American Institute of Architects) New York's Annual Design Awards 受賞

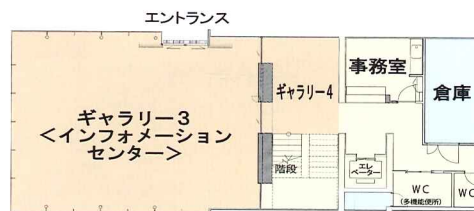
美術館概要

城西大学水田美術館は、1979 年に水田記念図書館棟 8 階に創設され、現在の美術館は、城西大学創立 45 周年記念事業の一環として 2011 年 12 月に開館いたしました。所蔵している「水田コレクション」は、本学の創始者である水田三喜男が生前に蒐集された浮世絵コレクションが中心となります。

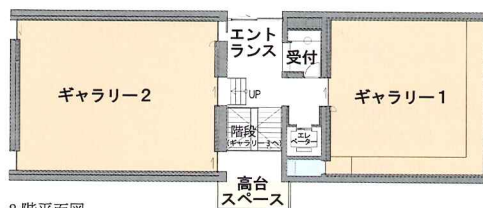
水田コレクションは、浮世絵を中心に 200 点余りからなり、浮世絵の発生期から近代日本画に至るまでその発展過程を所蔵作品によってたどることができます。また、稀版画を含む 9 点の写楽作品を所蔵しております。大学行事にあわせ、春秋の「水田コレクション展」を中心に様々な展覧会を行います。

学生、ご父母様、地域の皆様に愛される美術館を目指します。

竣工年月	2011 年 11 月
構造・規模	RC 造(一部 S 造)・地上 2 階
延べ面積	666.46 m ²
設 計	Studio SUMO
	株式会社大林組一級建築士事務所
施 工	株式会社大林組東京本店



1 階平面図



2 階平面図

ギャラリー

城西大学水田美術館には 4 つのギャラリーがあります。ギャラリー 1 およびギャラリー 2 は、水田コレクションをはじめとし、先鋭的な現代美術まで、幅広く様々な展示が行われます。ギャラリー 3 では、坂戸市や地域ゆかりの文化の紹介、大学の紹介、その他企画展などを行います。ギャラリー 4 では、水田コレクションおよび水田美術館について、DVD で紹介しています。



ギャラリー 1



ギャラリー 2



ギャラリー 3



ギャラリー 4



高台スペース